

## 呉市公共施設等総合管理計画（案）について

### 1 策定の趣旨

住民の利用や需要の変化に対応しつつ、将来の人口規模、財政規模にふさわしい行政サービスを安全かつ継続的に提供していくため、インフラを含む公共施設等の更新、統廃合、長寿命化などの行動計画である「呉市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」といいます。）を策定します。

### 2 総合管理計画（案）に対する意見募集の結果

総合管理計画の策定に当たり、平成27年12月15日（火）から平成28年1月15日（金）まで（32日間）意見募集を行い、次のとおり3名の方から計7件の意見が提出されました。

なお、提出された意見を踏まえて修正した箇所はありません。

提出された意見の要旨	市の考え方
計画案に対するもの	
(1) 公共施設等の維持保全は、予算不足により軽視されてきた。公共施設等は、呉市民の貴重な共有資産であるため、資金調達を再考し、絶えず維持保全を図り、資産価値の向上に努めるべき。	公共施設等は、呉市民の貴重な資産です。必要な機能を残しながら、適正な配置を推進していくことにより、全体のコストを縮減しつつ、施設の維持・保全を計画的に進めていきます。
(2) 製造部門より業務部門における温室効果ガスの排出が大きいので、今後の公共施設の運営維持において、環境・温室効果ガス削減への取組について明確にされるべき。	呉市では、平成25年4月から「呉市地球温暖化対策実行計画（第3期くれエコアクションプラン）」として、温室効果ガス排出量削減のため、公共施設での電気・燃料使用量削減に取り組んでいます。また、総合管理計画においても、合理的・効率的な公共施設の管理を行う方針としています。
(3) 他自治体において、トンネルの崩落事故が発生している。また、公共施設等の総点検を実施し、インフラ長寿命化計画も策定している自治体もある。呉市においても今後十分研究してからではなく、まず「行動」が必要である。	呉市においても、昨年、一定規模の公共施設を対象にして、統一的な「公共施設点検マニュアル」に基づく職員による点検を実施しており、今後も継続していく予定です。 また、インフラについても国・県が定める点検マニュアルによる点検及び計画的な修繕を実施しており、今後も

	定期的な点検と施設の長寿命化に取り組み、安全確保に努めていきます。
個別施設に対するもの	
(4) 廃校となった施設は売却が基本姿勢だが、早急な売却が困難な場合、賃貸もできることにすれば、企業にとっても活用の選択肢が広がる。一例として、老人向けの介護施設として活用できれば、家族の負担軽減にもなり、市としてもメリットはある。	廃校となった施設については、従前どおり売却を優先的に検討します。売却が困難な場合は、今後、賃貸も含め、最適な手法を検討していきます。
(5) 就学前の幼児期には、自然の中で自由にのびのびと身体を動かして子ども同士で遊ぶことが大切だと思う。昔と異なり、公園や小学校で自由に遊べなくなっているのを、呉ポートピアパークに「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした「プレーパーク」を設置して、既存の施設を活性化してほしい。	今後、総合管理計画の内容を決定した後、施設分類ごとの視点に加え、地域や地域を超えた視点でまとめた個別計画を策定します。頂いた意見は、個別計画を策定する際の参考とさせていただきます。また、予防保全の継続的な実施のために、施設の種別ごとの中長期保全計画の策定に取り組んでいきます。なお、個別計画の策定及び実施の際には、施設の利用者や地域住民の意見をお聴きしながら取組を進めていきます。
(6) 新庁舎は目標耐用年数に従い、計画的維持保全計画・長期修繕目標の下にライフサイクルコストを明確にした維持保全が必要ではないか。	
その他のもの	
(7) ファシリティマネジメントの基本は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ムリ、ムダ、ムラをなくす。</li> <li>・ 部局間の壁に横串を入れる。</li> <li>・ P D C A のマネジメントサイクルを回す。</li> </ul> を意識することである。今後職員の一層の奮闘と精進を願う。	頂いた意見は、資産経営を推進していく上で、基本となるものであり、総合管理計画においても同様の考えで進めていくこととしています。

### 3 今後の予定

本報告に際して議会から頂いた意見を踏まえ、総合管理計画の内容を決定します。

この後、総合管理計画の地域説明を実施するとともに、平成32年度までを目途に個別計画（個別の施設ごとの管理運営方針）を策定します。